

BRIDARIUM MUE
FORMAL COLLECTION

黒留袖

色留袖

モーニングコート

佳き日を迎えられる皆さまへ



留袖やモーニングは
伝統と格式を携えながら
宴に華を添える装いです
新しい門出に立ち会う
ことほぎの時
栄誉を讃えられる
慶びの時
祝福に満ちあふれた心を
雅やかにつつまます



黒留袖

黒留袖はミセスの
第一礼装とされています
黒留袖の特徴は、黒無地裾模様
染め抜き五つ紋です
留袖の名称には
嫁入り先に幾久しく留まるとい
う意味が込められています

▽ 1 ▽

流水無垢の寿ぎ

琳派

琳派

日本を代表する装飾芸術である
琳派文様の留袖です。
技法、表現ともに
伝統的な大和絵を基盤とし
大胆な構図を用いた
華やかで豊かな装飾性が特徴です。



4

錦上添花

手刺繍
広幅・長尺有り



3

彩雅の宴

手刺繍
広幅有り



5

暁の明星

京友禅

京友禅とは、京都で作られる
友禅染めを指します。
歴史が育んだ
優美で華やかな色彩を
表現する染色技法で
京都の扇絵師・宮崎友禅齋が
京友禅の基礎を作ったと
語り継がれています。

京友禅



2
清麗高雅
手刺繍

手刺繍

色とりどりの絹糸を
一針一針緻密な模様を手で
縫い上げる技法を
手刺繍と呼びます。
絹糸の光沢と立体感が引き立ち
華やかさと豪華さが際立ちます。



8
し き は な え
四季の花笑み
京友禅



7
め い び し め ん こ う
明媚春光
金彩友禅
広幅・長尺有り



9
か て ん げ っ ち
花天月地
金彩友禅
広幅・長尺有り

金彩友禅とは
友禅染めの下地に
様々な種類の金や銀の箔・粉を
接着する技法を指します。
金彩と友禅を組み合わせることで
着物の彩りや輝きが増し
上品かつ華やかな
装いになります。

金彩友禅 — 小



6
おしどりの睦
手刺繍

13

雪輪牡丹の和み

京友禅 広幅・長尺有り



11

花紅柳緑

金彩友禅



10

凜花の琴音

手描友禅



12

艶美の舞

京友禅

手描友禅 ————
手描友禅とは、友禅加工の最も古い技法であり、今日まで継承されている京都の伝統工芸です。絹の白生地にも多彩な色彩で模様を描く技法で日本を代表する伝統工芸の一つとして受け継がれています。



16

ひしょうくんぼう
飛翔薫風

京友禅



15

ふうきさん
富貴の讃

手描友禅



18

ひゃっかしらべ
百花の調

京友禅
広幅・長尺有り



17

ちょうようきつか
重陽菊華

手描友禅



京友禅

14
ゆうびごらみょう
優美高妙



色留袖

色留袖は、ミス・ミセス
問わずに着ることができ
紋の数によって
正礼装、準礼装と分かります
上品で柔らかな色合いが多く
披露宴を彩り豊かにしてくれます

七宝香華

※19※

手描友禅 広幅有り

晴れの日を彩る
和装小物

袋帯

留袖用の帯は、錦織の袋帯が主流です。金銀箔を織り込んだ箔錦や佐賀錦、唐織などがあります。

帯揚げ

総絞りや綸子の白を用います。上品に装うことを第一に選びます。

帯締め

帯締めも色は白系統のものが基本です。現在は組紐が中心で金銀をあしらったものなど多彩です。

末広

金銀の地紙に黒骨の扇子を末広と呼び礼装には欠かせない小物です。通常は帯と帯揚げの間に差します。

草履・バッグ

革、エナメル、佐賀錦などに刺繍、金彩、ビーズ加工などを施したものがああります。色は金銀が主流です。



20
いろど はなころも
彩り花衣

京友禅
長尺有り



22
はながすみ ねいろ
花霞の音色

京友禅



21
てんげらんまん
天花爛漫

京友禅

※店舗により取り扱い商品が異なりますので、ご試着希望の際は店舗までお問合せください。
※実際の衣裳の色味が写真と多少異なる場合もございますのでご了承ください。
※帯は参考商品です。



モーニングコート

1 プレミアムモーニングコート

フランスの最高級服地ブランド「ドゥメル」の
 フォーマル素材を使用し優雅なしなやかさと耐久性・
 機能性を兼ね備えたロイヤルブラックのモーニングコートと
 日本人の体型に合わせた美しいシルエットと
 脚長効果のあるラインが特徴です。

2

スタイリッシュ モーニングコート

エレガントでスマートな
 雰囲気仕上げたモーニングコート。
 ジャケットにはイタリア最高峰の
 服地ブランド「ゼニア」の
 フォーマル素材を使用し
 軽くて快適な着心地が特徴です。

3

ベーシック モーニングコート

スーパーブラック加工を施した
 高級素材のタキシードクロス
 を使用し、気品高い装いに。
 落ち着いた佇まいが
 フォーマルシートの
 厳かな空気に映えます。

※ 衣裳選びのよくあるご質問

挙式・披露宴の当日はゲストをお迎えする主催者側として、ご両親の服装にもマナーがございます。専門店ならではの豊富な品揃えと知識で衣裳選びをサポートいたしますので、どうぞ安心してお任せください。

Q いつごろまでに申し込んだら良いですか？

お着付、ヘアセットなどのご予約も必要となつてきますので三ヶ月前くらいまでにお申込みいただくと安心です。

Q はじめてでどのように選んだら良いか分からない。相談できますか？

式場の雰囲気やご年齢、お好みに合わせて、多数のラインナップから専門スタイリストがご案内いたしますのでぜひご相談ください。

Q 衣裳は自宅以外へも送ってもらえますか？

着付美容室や式場へもお送りいたしますので、ご遠慮なくご指定ください。

Q 新郎新婦の父親は何を着たら良いですか？

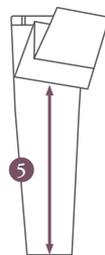
新郎新婦とともにゲストをお迎えする立場ですので、最も格式の高い「正礼装」をお召しください。

Q 遠方に住んでおり、店舗に行くことができない。どうしたら良いですか？

式場やご年齢、サイズ等から適切な衣裳を見計らい、ご用意することも可能です。

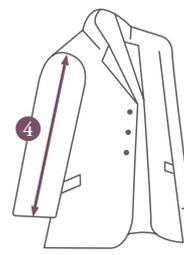
サイズの測り方

(お手持ちのお洋服をご準備ください)



⑤ 股下

お手持ちのスラックスの前身頃と後身頃が縫い合わされてる十字部分(クロッチ)から、脚の内側の縫い目に沿って、裾まで測ります。



④ 袖丈

袖を縫い付けている境目から、袖の先端までを直線で測ります。



③ 胴囲

通常ベルトを締めている位置を肌着の上から少し強めにメジャーを引いて測ります。

① 肩幅

左袖を縫い付けている境目より、肩の縫い目から襟の付け根を通り右袖の縫い付け部分まで測ります。

② 胸囲

ワイシャツの上から脇にメジャーを当て、ゆとりを入れないで測ります。

BRIDARIUM MUE *M*